

製品名: アルギナーゼ-1 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21361**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:2000-1:10000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:35kD;Observed MW:35kD

抗原情報

遺伝子名	ARG1
別名	
遺伝子 ID	383.0
SwissProt ID	P05089
免疫原	ヒト肝臓アルギナーゼの合成ペプチド

背景

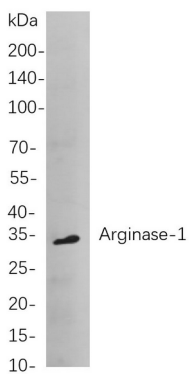
細胞局在: 細胞質。アルギナーゼは、アルギニンをオルニチンと尿素に加水分解する反応を触媒する。哺乳類アルギナーゼには少な

くとも2つのアイソフォーム (I型とII型) が存在し、組織分布、細胞内局在、免疫学的交差反応性、および生理学的機能が異なる。この遺伝子によってコードされるI型アイソフォームは細胞質酵素であり、主に肝臓で尿素回路の構成要素として発現する。この酵素の遺伝的欠損は、高アンモニア血症を特徴とする常染色体劣性疾患であるアルギニン血症を引き起こす。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする2つの転写バリエーションが見出されている。[RefSeq 提供、2011年9月]

研究分野

-

画像データ



huh-7細胞ライセートのウェスタンブロット解析 (アルギナーゼ-1 ウサギ mAb を使用)。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG 抗体を使用した。